

| 令和8年度までの目標 | 国語        |       | 算数・数学     |       |
|------------|-----------|-------|-----------|-------|
|            | 自校A B層の割合 | 80.0% | 自校A B層の割合 | 80.0% |

## 目標達成に向けた取組

| 3つの観点                     | 教員の指導力向上  | 基礎学力の保障   | 学習習慣の確立   |
|---------------------------|---|---|---|
| <b>学校全体の取組</b>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>相互授業参観を行い、一人一人の向上を図る。</li> <li>国語の授業実践を通して、確かな学力を育成につながる授業力向上を図る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>年間150回程度の放課後補習教室を展開し、きめ細かな学習支援を推進する。</li> <li>江戸川っ子study week!を実施、活用し、個別最適な学びの実現を目指す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習習慣の定着を図るために、ドリルパークを全校で取り組む期間を設定する。</li> <li>家庭学習の定着を図るために、全学年で計画的に家庭学習の課題を出す。</li> <li>「学年×10分+10分」の時間を学年便り等で保護者に周知し、家庭への啓発を図る。</li> </ul> |
| <b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の興味関心を喚起することができるように、分かりやすい導入を行う授業改善を図る。</li> <li>適切な評価をし、C・D層に対して、机間指導、声掛けなどを行い、自己肯定感を高める。</li> <li>学びの質の向上を目指し、全学年での交換授業や教科担任制を導入する。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>年間150回程度の放課後補習教室を展開し、きめ細かな学習支援を推進する。</li> <li>江戸川っ子study week!を実施、活用し、個別最適な学びの実現を目指す。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ドリルパークを家庭学習として、積極的に活用する。</li> <li>自主学習を家庭学習として提示し、発達段階に応じて取り組む。</li> </ul>   |
| <b>成果指標</b>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力調査「国語、算数の授業内容はよく分かりますか」「国語の授業で書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている」「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している。」<br/>肯定的な回答 80%以上</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>東京ベーシックドリルの診断テスト<br/>正答率8割達成者 80%以上</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学年×10分+10分の家庭学習ができている」<br/>肯定的な回答 80%以上</li> </ul>  |